

山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業審査会
令和6年度 事業成果（事業評価）報告書

令和6年度山武市市民提案型まちづくり推進事業審査会の審査結果を次のとおり報告いたします。

記

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 審査委員 | 10名 |
| 2 | 審査方法 | 実績報告書による書類審査及び成果報告会による発表 |
| 3 | 審査団体 | チャレンジ部門2団体 |
| 4 | 審査講評 | 各事業実施団体からの成果報告については、概ね事業目的に沿った適正な活動であったと認められます。
各団体の事業評価内容は、別紙のとおりです。 |

<チャレンジ部門>

■ NPO 法人みんなの居場所ありのまま山武支部

当事業2年目で、団体自体も成長していると感じます。地域で世代間交流の場が失われていく中で、湿地帯の自然を守りながら、自然農法で米作りをする活動にとどまらず、ワークショップでは、先人の知恵に依って作られた水路を現在のツール（アプリ）を利用し確認するなど、色々な事にチャレンジすることは素晴らしい活動と感心します。

また、不登校の子ども達がお米作りを通して社会とのつながりを設ける子どもの居場所づくりだけでなく、大人も楽しみながら活動することで世代間交流が図られ、お年寄りの生きがい作りや都市部からの参加者による交流人口の増加等に資する、公共性の高い取り組みについて高く評価します。

収入は、事業イベントへの参加費やその他収入によって事業の財源が確保されていますが、事業支出は、指導者に対する交通費・謝礼の割合が大きいのと思われます。専門知識も必要であるという一面もありますが、今後自分達で行う工夫や地域の農業経験者のボランティアを募るなどの連携、農作物の販売など財源確保につながる手段等も検討していただきたい。

今後は、参加者を特定しないテーマの設定、SNS（Facebook）等の活用により周知を行うことで、より取り組みが広く認知され、活動の輪が広がることを期待いたします。

■ 山武市歴史民俗資料館友の会

成東高校と連携している数少ない市民活動として、高校生や若い世代を対象に、地域の歴史文化や先人達の功績を知る・理解する機会を作る事業内容は、郷土愛の醸成及びグローバル人材の育成にも資する活動と評価します。

成東駅周辺の「郷土史跡めぐり」は、地域の歴史文化を知る機会となるので、継続して実施することを希望します。

収支決算書のその他の収入は、自己資金の予算額の算出根拠が不明確です。実施事業の修正後に実施した書道展示の支出は、「画仙紙・墨汁」に「清秘蔵」社製のものを購入しています。作品制作に必要なものとは思いますが、高額出費となっているため、改善の余地があると思われます。全体的に印刷関連の費用が多く、報償費及び燃料費について執行されなかった点から、執行計画に甘さがあったものと考えられます。

一方、成東高校中心の活動で、必然的に参加者が限られてしまう点が少々残念でした。

今後は、歴史に興味のある若い方をもっと取り入れる活動や、名もなき偉大な先人の発掘などの取り組みにもチャレンジしてほしい。

また、地域文化を語り案内ができる人材の育成や、地域の歴史文化や先人達の功績について資料を残し、伝えて行く活動に期待いたします。